

# HTLV-1

## HTLV-1キャリア妊婦の現状と母子感染予防：

産婦人科・小児科・内科の連携でキャリア女性をサポートする東京プログラムについて

東京産婦人科医会 常務理事（母子保健担当） / 杏林大学産科婦人科  
谷垣 伸治

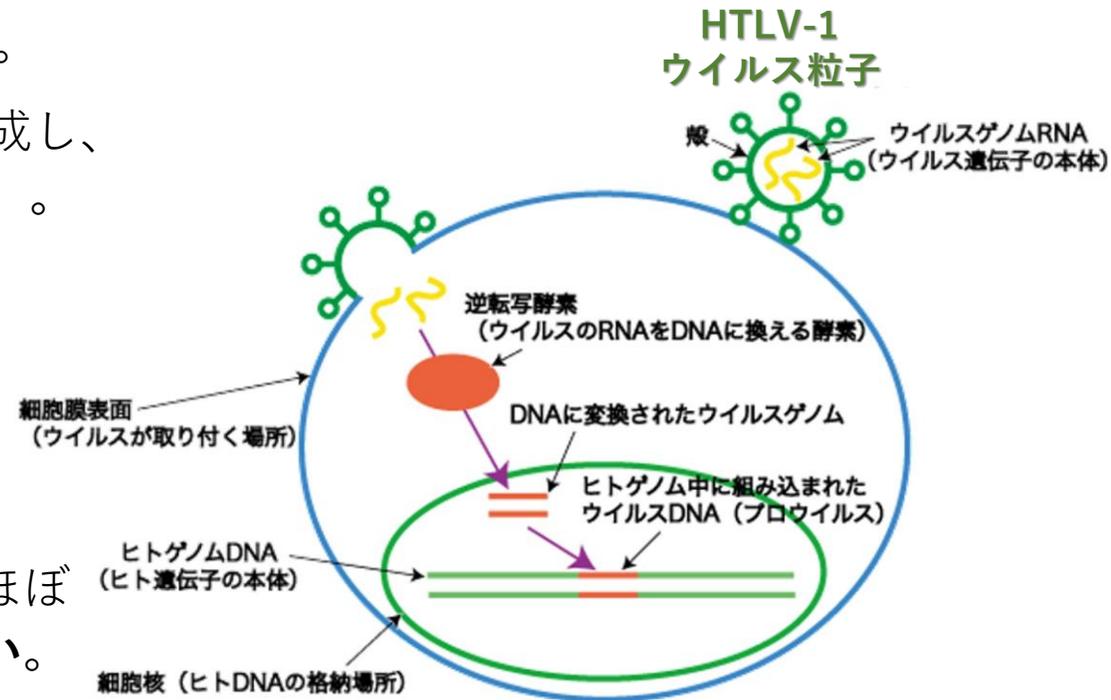
- HTLV-1感染についての基礎的な知識
- HTLV-1の母子感染とその予防
- HTLV-1について妊婦健診とフォローの現状
- HTLV-1東京プログラム

- HTLV-1感染についての基礎的な知識
- HTLV-1の母子感染とその予防
- HTLV-1について妊婦健診とフォローの現状
- HTLV-1東京プログラム

# HTLV-1とは？

# HTLV-1

- HTLV-1 (Human T-cell Leukemia Virus Type 1)とは、ヒトT細胞白血病ウイルス-1型 のことで、レトロウイルスの1種。
- レトロウイルスは、自身の遺伝情報であるRNAからDNAを作成し、感染した細胞のDNAに組み込む（ウイルスの遺伝子をいれる）。
- 一般に、レトロウイルスの**感染力は弱い**。
- 免疫応答を助ける細胞や細胞傷害活性をもつ細胞に分化する白血球の1つである**CD4陽性T細胞に感染、感染細胞のDNA中に作成したウイルスのDNAが組み込む**。
- 感染細胞から感染性をもつウイルス粒子が産生されることはほとんどなく、**血中に感染性を持つウイルス粒子そのものは存在しない**。
- HTLV-1 は、**感染したT細胞が別のT細胞と接触することにより感染・伝播**される。
- つまり、**大量の生きた感染細胞が体内に移入された場合に感染**する可能性が生じる。



ヒトTリンパ球細胞（宿主細胞）

# HTLV-1の疫学

# HTLV-1

## ●日本全国のキャリア数：

- ✓ 推定 72-82 万人 (2014-2015 年の調査より)

## ●日本全国の抗体陽性率：

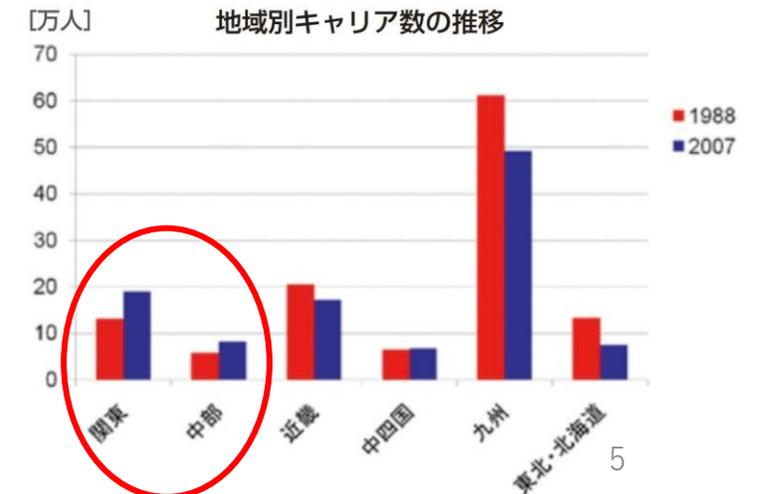
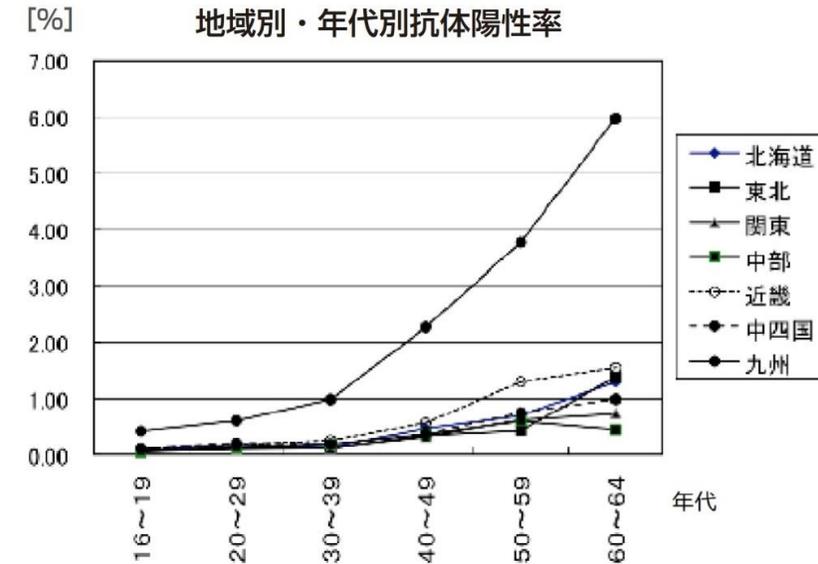
- ✓ 平均 0.32% (男性 0.30%、女性 0.34%)
- ✓ 年齢が高いほど抗体陽性率も高い

## ●地域別抗体陽性率：

- ✓ 九州・沖縄地方で高いが、低下傾向にある。
- ✓ 近年は関東地方・中部地方で増加傾向にある。
- ✓ 近年は九州地方から全国、特に人の首都圏への移動によりキャリアは拡散している。

## ●妊婦の抗体陽性率：0.26% (日本産婦人科医会2020年調査)

- ✓ 九州など西日本では低下傾向にある。
- ✓ その他の地域でもやや減少する傾向にある。



# HTLV-1の感染経路は？

# HTLV-1

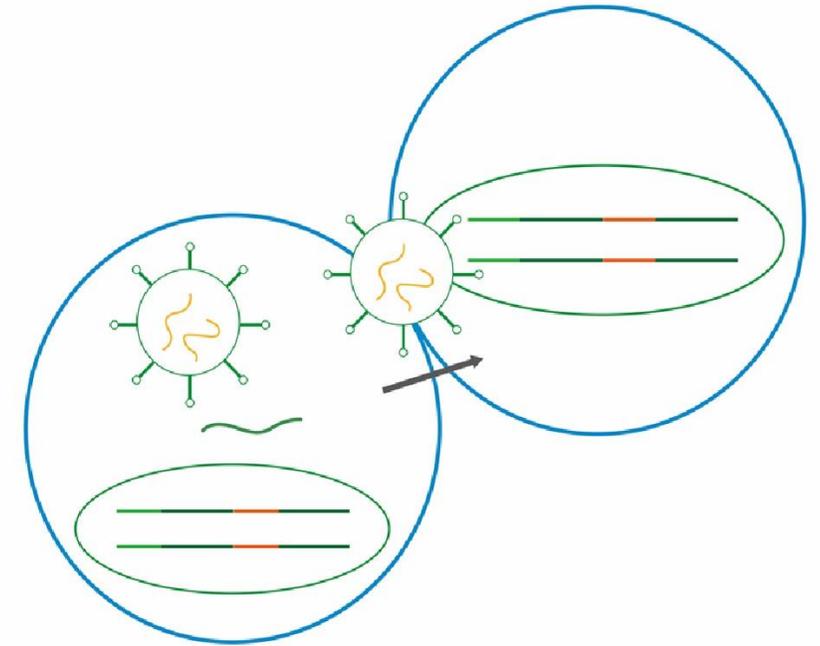
- **感染力は極めて弱く**、大量の生きた感染細胞が体内に移入された場合、感染する可能性が生じる
  - 感染細胞は**乾燥・熱・洗剤で簡単に死滅**
  - **主な感染経路**
    1. **母乳を介する母子感染**
    2. **性行為感染（水平感染）**
    3. **出生前の感染（経胎盤感染、産道感染）**
    4. **輸血や臓器移植を介した感染**
- ✓ 同じ浴槽・プールに入る
  - ✓ 衣服・食器・寝具などの共有
  - ✓ 咳、くしゃみ
  - ✓ キス、唾液
  - ✓ 子ども同士の接触
  - ✓ 歯科治療、鍼灸治療
  - ✓ 蚊にさされる

**授乳、性交渉を除いて日常生活における感染機会はないとされる**

# HTLV-1 に感染するとどうなるの？

- HTLV-1 に感染者の約95%は「（無症候性）キャリア」として一生を終える（HTLV-1感染が原因の疾患（HTLV-1 関連疾患）を発症しないで天寿を全うする）。
- HTLV-1 関連疾患の発症は HTLV-1 に感染者の約 5% です。
- HTLV-1 関連疾患
  - ◆ 成人 T 細胞白血病 ・ リンパ腫  
(Adult T-cell Leukemia: **ATL**)
  - ◆ HTLV-1 関連脊髄症  
(HTLV-1 associated myelopathy: **HAM**)
  - ◆ HTLV-1 関連ぶどう膜炎  
(HTLV-1 associated uveitis: **HU**)

## HTLV-1ウイルスの感染



- 感染細胞と非感染細胞の接触によりウイルス粒子は受け渡される。
- ウイルス粒子そのものが血中を循環することはない。

# HTLV-1関連疾患：成人T細胞白血病（ATL）

- 長い年月をかけてHTLV-1に感染したT細胞が「がん化」する病気です。
- 感染からATLを発症するまでに40年以上の長い年月を要する。
  - ✓40歳を超えるまでは殆ど発症しない（発症年齢の中央値：67歳）。
- キャリアがATLを発症する割合：
  - ✓40歳以上のキャリアでおおよそ年間1,000人に1人。
  - ✓生涯発症率：男性でおおよそ15人に1人、女性でおおよそ50人に1人。

## ●初期・初発症状

- 強い倦怠感、1週間以上持続する高熱
- リンパ節腫大、肝臓・脾臓腫大
- なかなか治らない皮膚の発疹（形態はさまざま）
- 意識障害（おもに高カルシウム血症による）
- 検診での血液検査異常（無症状の時期に発見されることも）

- 治療：抗がん剤による化学療法、骨髄移植など



# HTLV-1関連疾患：HTLV-1 関連脊髄症（HAM）

- 主に脊髄で HTLV-1 感染細胞に起因する慢性炎症により脊髄性神経障害を来す疾患
- 発症年齢：10 歳代～60 歳以上（中央値：40 歳代後半）
- キャリアが HAM を発症する割合：生涯発症率 1000人に2.5人
- 症状：
  - 初期症状：
    - 下肢のツッパリ感・しびれ感、歩行時の足のもつれ、走ると転びやすい
    - 頻尿、残尿感、尿意があってもなかなか尿が出ない、などの排尿障害
    - 便秘などの直腸障害
  - 病気の進行速度は個人差があるが、約 8 割はゆっくりと悪化する。
  - 病状を回復させるのは非常に難しく、進行すると歩行に杖や車椅子が必要となり、重症例では寝たきりとなる場合がある。
- 治療：対症療法が中心で根本的な治療はない。

# HTLV-1関連疾患：HTLV-1 関連ぶどう膜炎 (HU)

- HTLV-1 感染が原因となって**眼のぶどう膜に炎症**が起こる疾患
- 発症年齢：10 歳代～ 60 歳以上（**中央値：50 歳代**）
- 男女比：1：2-3 で女性に多い
- キャリアが HU を発症する割合：生涯発症率は不明
- 症状（両眼あるいは片眼に急に発生）：
  - **霧視**（かすんで見える）
  - **飛蚊症**（目の前に虫やゴミが飛んでいるように見える）
  - **視力の低下**
  - 眼の充血
  - 眼痛、羞明感
- 治療：ステロイド点眼、内服など

- HTLV-1感染についての基礎的な知識
- HTLV-1の母子感染とその予防
- HTLV-1について妊婦健診とフォローの現状
- HTLV-1東京プログラム

# HTLV-1の母子感染予防

# HTLV-1

- これまでに母子感染予防効果が検証された栄養方法：

①完全人工栄養、②短期母乳栄養（90日未満）、③凍結解凍母乳栄養、④長期母乳栄養（90日以上）

- **完全人工栄養は、感染細胞を含む母乳を飲まないことから、論理的に母乳からの感染を防止する最も確実な方法**である（2017年「HTLV-1 母子感染予防対策マニュアル」で推奨）。

- **胎内（出生前）での母子感染**（経胎盤感染、産道感染）が起こることがあり、これを予防する方法はないが、**頻度は低い**。

- 母子感染予防の観点に加え、妊娠・出産・育児の観点からも**各栄養方法のメリットとデメリットを十分に理解したうえで、妊婦自身の意思で栄養方法を選択**することが重要である。

- 出産後すぐに授乳をすることになるので、**出産までに栄養方法を選択**しておくことが重要になる。

# 母乳育児の利点

# HTLV-1

## 児にとっての利点

- ✓ 乳児に**最適な栄養成分**
- ✓ **免疫機能を向上**させる
- ✓ **消化管の発達を促す**
- ✓ 代謝負荷が少ない
- ✓ 顔全体の筋肉やあごを発達させる
- ✓ **いつも新鮮で適温**
- ✓ 児の突然死が少ない

## 母体にとっての利点

- ✓ オキシトシンを分泌させる
- ✓ プロラクチン を分泌させる
- ✓ 母体の体調を整える
- ✓ 妊娠前への体重への回復を促す
- ✓ 排卵を抑制する
- ✓ **精神的な安定**をもたらす
- ✓ **経済的で、衛生的**
- ✓ **手間がかからない**

# HTLV-1の母子感染予防：完全人工栄養

## メリット

### ● 出生後の母子感染予防法として論理的に最も確実な方法

- 母乳以外の経路（経胎盤感染、産道感染）による母子感染は予防できない。
- 完全人工栄養を選択しても約3%で母子感染が成立することが報告されている。

## デメリット

### ● 母乳育児によるメリットを得られない

### ● 育児用ミルクの購入費用がかかる

### ● 心理的ストレス

- 授乳による充実感が得られにくい
- 周囲から母乳を与えない理由を聞かれたり責められたりする、など

### ● 産後早期のボンディング（母と子の絆の形成）への影響

- 授乳の際、「赤ちゃんをしっかり抱く」、「赤ちゃんの目をしっかり見る」、「優しく声をかける」などを心がけることにより、母子の愛着形成は促進されるが、**ボンディングへの影響が懸念**される。
- **完全人工栄養での授乳の際にも同様の心がけがボンディングを形成することをお伝えすることが重要。** 14

# HTLV-1の母子感染予防：短期母乳栄養

## ●90日未満の母乳栄養

### メリット

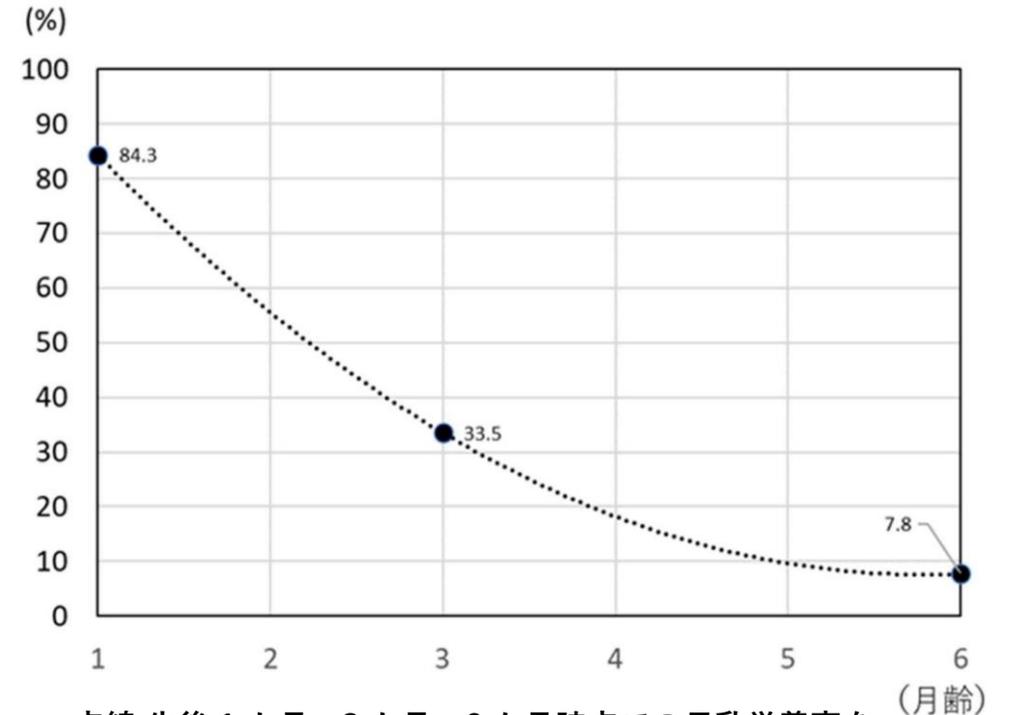
- 一時的ではあるが、**直接授乳ができる**
- 母乳栄養のメリットを一定程度受けることができる**
- 長期母乳栄養と比較し、出生後の母子感染率が低く、母子感染を一定程度防止できる**
  - **母子感染予防効果は完全人工栄養と同等**であることが示された（板橋班）。
  - その**機序は不明**であるが、① **HTLV-1の移行抗体**、② **感染細胞への曝露が短期間**であること、などが推定されている。

# HTLV-1の母子感染予防：短期母乳栄養

## デメリット

- 生後 90 日までに母乳栄養を終了して**完全人工栄養**への移行は必ずしも容易ではない
  - 赤ちゃんが嫌がったり、周囲の理解が得られないことで 90 日での母乳栄養の終了が困難な事がある。  
(30%以上が短期母乳栄養を完結できていない)
  - 母乳が出るのにあげられない葛藤、母乳分泌可能な乳房の活動を抑制するためのケアなど、心身ともに負担がかかる。
  - **専門医、助産師によるサポートが必要**である。
- 育児用ミルクを購入する費用がかかる

短期母乳選択後の母乳栄養実施率の推移



点線:生後1か月、3か月、6か月時点での母乳栄養率をもとに作成した二次多項近似曲線

Itabashi K, et al. Pediatr Int 63: 284-289, 2021

**30%以上が短期母乳栄養を完結できていない**

# HTLV-1の母子感染予防：凍結解凍母乳栄養

母乳を搾乳し、 $-20^{\circ}\text{C}$ 以下の家庭用冷凍庫で24時間以上冷凍後に解凍して用いる方法

## メリット

- **母乳栄養のメリット**をある程度付与することが可能
- 長期母乳栄養と比較し、出生後の母子感染率が低い可能性がある
  - 母子感染予防効果の機序として、母乳を**凍結処理することにより感染細胞が破壊させ、感染性を失活**させることが推定されている。
  - 『**CAS(Cells Alive Systems)**』**機能を持つ冷凍庫**では、目的を達成できないので使用しない。
  - 現時点では母子感染予防についての**科学的なエビデンスは確立しておらず**、早産児など特殊な状況以外での選択は推奨されていない。

## デメリット

- 搾乳、凍結、解凍といったプロセスが必要であり、**手間がかかる**
- 直接母乳を行うことはできない
- 母子感染予防効果について、**現時点では科学的なエビデンスが弱い**

- HTLV-1感染についての基礎的な知識
- HTLV-1の母子感染とその予防
- HTLV-1について妊婦健診とフォローの現状
- HTLV-1東京プログラム

# HTLV-1抗体検査（妊婦健診での方法）1

- 妊婦健診で妊娠初期・中期に公費補助のもとでHTLV-1 抗体スクリーニング検査が行われている
- 全ての妊婦が検査対象である理由
  - 現時点では以下が確立しておらず、HTLV-1の「母子感染を予防すること」が唯一の対策である。
    - HTLV-1 感染予防のワクチン
    - HTLV-1 の治療法（感染細胞からウイルスを除去するなど）
    - HTLV-1 関連疾患の発症予防法
  - 妊産婦がHTLV-1 キャリアの場合、**経母乳感染の防止**が必要である
  - キャリア妊婦には、自身の状況をご理解するとともに、**出産前（授乳を開始前）**に**児の栄養方法**について十分に検討して決めておくことが必要である

# HTLV-1抗体検査 (妊婦健診での方法) 1

## スクリーニング検査

実施時期：妊娠初期～中期  
対象：全妊婦

### HTLV-1 抗体検査

粒子凝集(PA)法  
化学発光酵素免疫測定(CLEIA)法  
化学発光免疫測定(CLIA)法  
電気化学発光免疫測定(ECLIA)法

陰性

0.26 % \*

**陽性**

## 確認検査

### ラインブロット (LIA) 法

7.0 % \*

判定保留

陰性

45.6 % \*

**陽性**

PCR 法 #

**陽性**

24.0 % \*

**HTLV-1 感染 (キャリア)**

\* 日本産婦人科医会調査 (2020 年)

# 2018年4月に保険収載

# HTLV-1キャリアへの説明 HTLV-1

- 妊娠中は通常の妊婦健診。
  - 分娩施設や分娩様式を変更する必要はない。
  - HTLV-1 関連疾患を疑う症状を認めた場合は速やかに病院を受診下さい。
- 
- 分娩後に **1年に1回定期的に検査**を受けても **必ずしも HTLV-1 関連疾患の早期発見にはつながらない。**
    - 現時点ではHTLV-1の治療法およびHTLV-1関連疾患の発症予防法は確立していない。
  - 気になる症状がなくても、**不安や相談したいことがある場合は専門外来を受診**できる。
    - 内科のHTLV-1の専門医にも相談できますが...

**気軽にHTLV-1の専門医を受診できます**

**都内では東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科  
(日本HTLV-1学会認定施設) 内丸 薫 教授**

# HTLV-1キャリアよりの出生した児へ説明

- HTLV-1 関連疾患の多くは成人期以降の発症であり、**小児期に何らかの徴候が出現することは極めて稀。**
- **乳幼児健診・予防接種はともに通常通りに可能**であり、日常生活における制限なし。
- **希望の栄養方法を選択下さい** が、短期母乳を勧めているかも．．．

- 
- 乳幼児健診は通常通り、採血フォローはしない
    - 児の感染（母子感染）の有無は、抗体検査を実施することで確認できる。
      - ✓ **3歳以降にHTLV-1抗体検査を受けることが推奨**されている。
      - ✓ 児の検査の受検は夫婦で十分に相談して判断いただく。
      - ✓ 仮に抗体検査が陽性であった場合でも通園・通学先へ報告する必要はない。

# 産婦人科診療ガイドライン産科編2023 1

産婦人科診療  
ガイドライン 産科編2023



Guidelines  
for Obstetrical practice in Japan,  
2023 edition

産婦人科診療  
ガイドライン

産科編2023



Guidelines  
for Obstetrical practice in Japan,  
2023 edition

産婦人科診療  
ガイドライン

A. 妊娠の管理: 6-7

G. 感染症: 332-335

## CQ003 妊娠初期の血液検査項目は？

### Answer

1. 以下の項目を行う。

ABO式血液型(A), Rh式血液型(A), 不規則抗体スクリーニング(A), 血算(A), HBs抗原(A), HCV抗体(A), 風疹抗体(HI)(A), 梅毒スクリーニング(A), HTLV-1抗体(A, 初期が望ましいが遅くとも30週頃までに), HIVスクリーニング(A), 血糖検査(A), トキソプラズマ抗体(C)

**Key words:** 妊婦健診, 血液検査, 妊娠初期検査

## CQ612 HTLV-1検査と陽性例の取り扱いは？

### Answer

1. スクリーニング検査(ゼラチン粒子凝集法\*, 化学発光免疫測定法, 化学発光酵素免疫測定法, 電気化学発光免疫測定法, イムノクロマト法)には偽陽性があることを認識する。(A) \*2023年で終売
2. スクリーニング陽性の場合, 以下のように検査を進め, HTLV-1キャリアであるかを判定する。(A)
  - 1) LIA法による確認検査を行い, 陽性の場合にはHTLV-1キャリアと診断する。
  - 2) 確認検査が判定保留の場合には, HTLV-1核酸検出(PCR法)を行う。
  - 3) HTLV-1核酸検出(PCR法)が陽性の場合, HTLV-1キャリアと診断する。
3. HTLV-1キャリアと診断した場合, 慎重に本人に告知する(解説参照)。(A)
4. 検査結果をパートナー・家族などへ説明するか否かは, 妊婦本人の意思に従う。(B)
5. HTLV-1キャリアの場合, 経母乳母子感染予防の観点から, 完全人工栄養が最も確実な方法であり, 最もエビデンスが確立した方法として推奨される。(B)

**Key words:** HTLV-1, 母子感染, 完全人工栄養

- 妊婦には**公費でHTLV-1スクリーニング検査が行われている**ため、そこでキャリアと診断された女性が**困ることのない支援体制の整備が重要**である。

- HTLV-1感染についての基礎的な知識
- HTLV-1の母子感染とその予防
- HTLV-1について妊婦健診とフォローの現状
- HTLV-1東京プログラム

# HTLV-1東京プログラム

- 妊婦に対して**公費補助**でHTLV-1スクリーニング検査が実施されている。
- 実際にHTLV-1キャリアと診断された妊産婦が**自身の発病や児への母子感染**について**不安**を感じたり、**悩み**を持つ実態がある。
- **不安や悩みをもつHTLV-1キャリアのサポート体制が不十分**である。
- 公費でのスクリーニング検査を実施するうえで、**診断された妊産婦をサポートする体制の整備は重要**である。
- 全国での**モデル地区**として、HTLV-1キャリアのサポート体制を東京で構築する目的で、**HTLV-1東京プログラム**が検討された。
- このプログラムは、**こども家庭庁科学研究費健やか次世代育成総合研究事業**（研究代表者 **内丸薫**）、**東京産婦人科医会、東京小児科医会**の連携の下で検討され、準備された。

**目的：**  
東京都内でHTLV-1キャリアと診断された妊産婦をサポートする体制を構築すること

## HTLV-1 母子感染を防ぐために

### HTLV-1 ウイルスについて

HTLV-1 ウイルスは日本語ではヒトT細胞白血病ウイルス-1型と呼ばれ、成人T細胞白血病・リンパ腫などの病気の原因であることが分かっています。日本は先進国の中でHTLV-1感染者数が最も多く、100万人近くいると考えられています。以前は西日本に多くみられましたが、人口の移動とともに大都市圏を中心に全国でみられる傾向にあります。

### HTLV-1 ウイルスの感染経路

生きた感染細胞が大量に体内に移入された場合に感染する可能性があります。おもな感染経路は、①母乳を介する母子感染、②行為による感染、③輸血や臓器移植を介した感染、④出生前の感染です。授乳、性交渉を除いた日常生活における感染の機会はありません。

### HTLV-1 ウイルスによっておこる病気

HTLV-1に感染しただけは無症状で、ほとんどの人はそのまま無症状で一生を過ごします（無症候性キャリアと言います）。感染が原因の疾患（HTLV-1関連疾患）を発症する人はHTLV-1に感染した人の約5%で、残りの約95%の人は特にHTLV-1関連疾患を発症することなく一生を過ごします。

#### 成人T細胞白血病・リンパ腫（ATL）

白血球のうち一種であるリンパ球の中のT細胞にHTLV-1ウイルスが感染してがん化することで発症する血液のがんです。リンパ節が腫れたり、皮膚の発疹などの症状の他、強い免疫不全となり、ATLを発症すると白血病の中でも予後が不良といわれています。無症候性キャリアでの生涯発症率は約5%であり、40歳以前に発症することは稀で、60歳代後半での発症が多いです。

#### HTLV-1関連脊髄症（HAM）

30～50歳代の発症（平均40歳）が多く、無症候性キャリアでの生涯発症率は0.3%と推定されています。発症はきわめてまれです。下肢のつばり感や歩行時の足のもつれなどが最初の症状で、進行性に両下肢の痙攣不全麻痺を起こし、日常生活が著しく制限される難病です。

#### HTLV-1関連ぶどう膜炎（HU）

50～60歳代の発症が多く、眼のぶどう膜に炎症が起こる病気です。霧視（かすんで見える）、飛蚊症（眼の前に虫やゴミが飛んでいるように見える）、視力の低下、眼の充血、眼痛、羞明感といった症状が両眼あるいは片眼に急に発生します。

### HTLV-1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）に関する情報

専門家運営の情報提供サイト	厚生労働省
HTLV-1 情報ポータルサイト <a href="https://htlv1.jp/">https://htlv1.jp/</a> 	HTLV-1 についての基本情報 <a href="http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou29/">http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou29/</a> 
キャリアねっと <a href="https://htlv1carrier.org/">https://htlv1carrier.org/</a> 	HTLV-1の母子感染予防に関する情報 <a href="http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshihoken16/index.html">http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshihoken16/index.html</a> 

### HTLV-1に関する専門的な相談窓口

日本HTLV-1学会登録医療機関	東京都内での母子感染についての相談窓口
ご自身の将来のことなどで不安や心配なことがある場合は、かかりつけの産婦人科や地域の保健センター（保健所）、地域の拠点病院の相談窓口などに相談して下さい。地域の保健センターでは専門医療機関を紹介しているところもあります。日本HTLV-1学会登録医療機関では、専門医が相談に対応するHTLV-1キャリア外来を設置しています。HTLV-1キャリアでATLなどの発症を防ぐ有効な方法はまだありませんが、ご希望があれば定期的に医師と相談しながら正しい知識を得て、経過をみていくなどにより不安の解消に役立つこともあります。 日本HTLV-1学会 <a href="http://htlv.umin.jp/info/hospital.html">http://htlv.umin.jp/info/hospital.html</a> 	妊婦中にHTLV-1キャリアと診断されて、心配されている方が専門的な相談を希望される場合に対応可能な医療機関を整備しています。自身の健康、出産後の授乳方法など心配なことがありましたら、お近くの相談可能な医療機関を予約して受診してください。また、出産後の赤ちゃんの経過観察、母子感染の確認検査について相談可能な医療機関もあります。お近くの相談可能な医療機関を予約して受診してください。 東京産婦人科医会 <a href="https://www.taog.gr.jp/wp-content/uploads/2023/06/ippan.pdf">https://www.taog.gr.jp/wp-content/uploads/2023/06/ippan.pdf</a> 

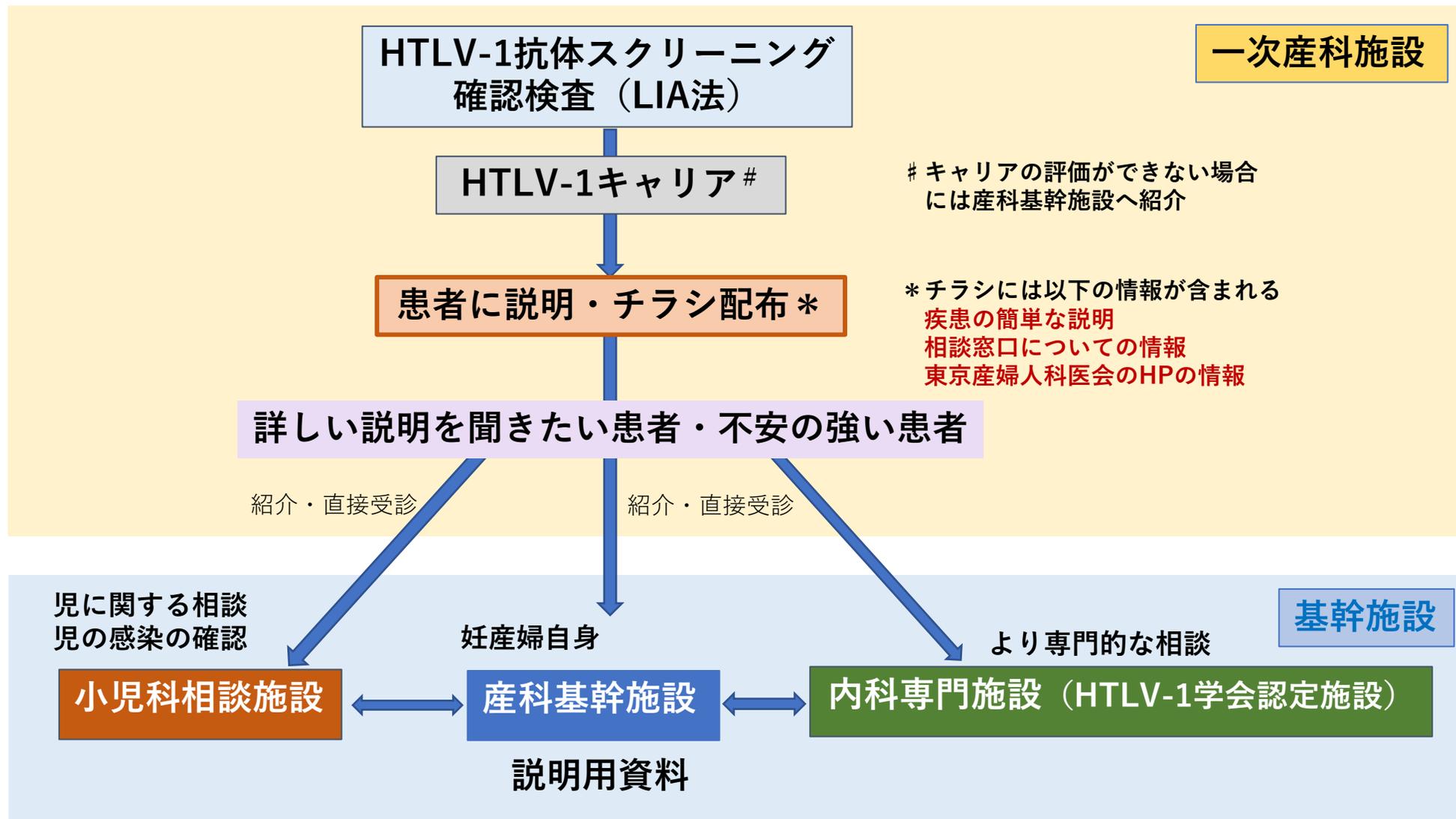
# HTLV-1東京プログラム

# HTLV-1

## ●活動内容

- ▶ HTLV-1キャリアの**妊婦さん**の感染症についての理解をサポートするために、**キャリア妊産婦に配布する資料（チラシ）**を作成しました。
- ▶ HTLV-1キャリア妊産婦さんへの説明や対応に苦慮する場合、**東京プログラムの基幹施設にご紹介ください**。基幹施設：総合周産期母子医療センター＋日本医大多摩永山病院
  - ✓ 各施設でスクリーニング検査で陽性の場合、HTLV-1の検査のこと、HTLV-1キャリア妊婦に発症する疾患のこと、母子感染のこと、児の感染確認のこと、など説明が必要です（**チラシを配布ください**）。
    - **十分な対応ができない場合には、基幹施設で確認検査を含めて対応することも可能**
    - **妊産婦に不安が強い場合、さらに詳細な説明を希望する場合**など、基幹施設で相談に対応する。
  - ✓ 検査直後には理解したつもりでも、出産後に不安になり、専門的な相談を希望する場合もある。
    - チラシではその際の相談先として基幹施設や小児科施設、内科施設の情報が記載されている。
    - 児の健診に合わせ小児科の協力施設での相談体制も整備した
    - 内科の相談施設でも積極的に相談にも応じている（東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科（日本 HTLV-1 学会認定施設））。

# HTLV-1東京プログラムとは？

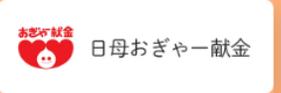


# HTLV-1東京プログラム

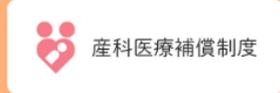
## ● 東京産婦人科医会のホームページ

- 医療機関向けの情報
- 妊産婦向けの情報

- 妊婦さんへ配布する「チラシ」にQRコードが記載
- そこから東京産婦人科医会のHPを閲覧可能



お母ぎゃー献金



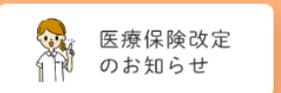
産科医療補償制度



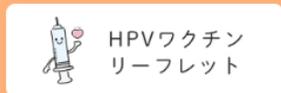
第44回 日本産婦人科医会学術集会



細胞採取と塗抹の実際



医療保険改定のお知らせ



HPVワクチンリーフレット



HTLV-1東京プログラム

### HTLV-1母子感染を防ぐために

HTLV-1ウイルスについて  
HTLV-1ウイルスは日本ではヒトT細胞白血病ウイルス-1型と並び、成人T細胞白血病、リンパ腫などの発症の原因であることが分かっています。日本は先進国の中でHTLV-1感染者数が最も多く、100万人以上いると考えられています。以前は日本に多く見られていたものの、人口の移動とともに大規模な海外へ広がっている状況にあります。

HTLV-1ウイルスの感染経路  
生きた感染細胞が大量に体内に侵入された場合に感染する可能性があります。おもな感染経路は、①母乳を介する母子感染、②行為による感染、③輸血や臓器移植を介した感染、④注射器の感染です。性交渉を介した日常生活上における感染の確率は低いです。

HTLV-1ウイルスによっておこる病気  
HTLV-1に感染しただけでは無症状で、ほとんどの人はその生涯無症状で一生を過ごします（無症性キャリアと稱します）。感染が原因の病気（成人T細胞白血病）を発症する人はHTLV-1に感染した人の約1%で、残り99%の人が成人後にHTLV-1関連病を発症することなく一生を過ごします。

成人T細胞白血病・リンパ腫 (ATL)  
白血球のうち一種であるリンパ球の中のT細胞にHTLV-1ウイルスが感染してがん化することで発症する病気です。リンパ球が腫れたり、血液の異常などの症状が現れ、強い疲労感などから、ATLを発症すると白血球の中でも数が少ない白血球、無症性キャリアの存在を意味する抗体などが、その細胞に感染することによって、60%程度で死亡することがあります。

HTLV-1関連神経症 (HAM)  
30～50歳代の発症（平均40歳）が多く、無症性キャリアの存在率は0.3%と推定されています。発症はゆっくりと進みます。下部のつらさや歩行時の揺れなどの症状が特徴的で、進行性で下部の感覚性麻痺を伴い、日常生活が難しくなる病状です。

HTLV-1関連筋力低下症 (HUL)  
50～60歳代の発症が多く、腰の痛みや歩行時の揺れなどの症状が特徴です。腰（がす）に痛み、発症（腰）に痛みや口が重くなるように見える、腕の力不足、腰痛、歩行時の揺れなどの症状が特徴的な病状に発症します。

HTLV-1 (ヒトT細胞白血病ウイルス1型) に関する情報  
専門家が提供する情報提供サイト  
HTLV-1情報ポータルサイト  
キャリアねっと

HTLV-1に関する専門的な相談窓口  
日本HTLV-1学会登録医療機関

日本HTLV-1学会

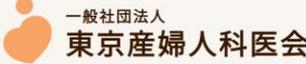
### 東京都内での母子感染についての相談窓口

妊娠中にHTLV-1 キャリアと診断されて、心配されている方が専門的な相談を希望される場合に対応可能な医療機関を整備しています。自身の健康、出産後の授乳方法など心配なことがありましたら、お近くの相談可能な医療機関を予約して受診してください。また、出生後の赤ちゃんの経過観察、母子感染の確認検査について相談可能な医療機関があります。お近くの相談可能な医療機関を予約して受診してください。

**東京産婦人科医会**

<https://www.taog.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2023/06/ippan.pdf>





一般社団法人  
東京産婦人科医会

HOME | 当会について | 行事スケジュール | 会員向けご案内 | 研修会ご案内 | 書類ダウンロード

## HTLV-1東京プログラム

書 / HTLV-1東京プログラム

一般の方 >

医療機関関係者 >

# HTLV-1東京プログラム

# 東京産婦人科医会のホームページ ●妊産婦向けの情報

## HTLV-1東京プログラム

一般の方へ

HTLV-1に関する最新の情報を確認する場合は、以下をご覧ください。

HTLV-1情報ポータルサイト  
<https://htlv1.jp>

### ●HTLV-1東京プログラム

HTLV-1キャリアと診断された妊婦さんをサポートする目的で設置されたプログラムです。

このプログラムは、東京産婦人科医会、東京小児科医会と厚生労働科学研究費健やか次世代育成総合研究事業（研究代表者 内丸薫）によって企画され、運用されています。

下記のような、HTLV-1に関する気になることや困っていることがある方は、主治医もしくはHTLV-1東京プログラム基幹施設にご相談ください。

- 「妊婦健診でのHTLV-1検査の結果が問題ないのかどうか分からないので教えてほしい。」
- 「HTLV-1キャリアと診断されたのですが、どの栄養方法を選んだらよいか悩んでいます。」
- 「HTLV-1キャリアと診断され、栄養方法は「短期母乳」を選択したのですが、90日で断乳できるか不安です。」
- 「HTLV-1キャリアと診断されました。日常生活での注意点を知りたいです。」

### ●HTLV-1東京プログラム基幹施設

東京都内に15施設あり、他施設で妊婦健診中もしくは分娩された方にも対応いたします。

受診方法の詳細（次ページ参照）は施設により異なりますので、受診する際は事前にご確認ください。



一般社団法人東京産婦人科医会

## 東京プログラムの目的

1

## HTLV-1東京プログラム基幹施設

一般の方へ

### ●HTLV-1東京プログラム基幹施設の受診方法

施設により異なりますので、受診する際は事前にご確認ください。

施設名(住所)	対応可能日	主治医による事前予約	受診される方による事前予約	受診される方への案内
総合母子保健センター愛育病院 (港区芝浦1-16-10)	金曜 9:00~12:00	可	可	事前予約は必須です。主治医に依頼するか、ご自分で予約専用ダイヤル(03-6453-7311 平日9:00~16:00)に電話して予約を入れてください。予約時にHTLV-1についてのカウンセリングである旨をお伝えください。原則、診療情報提供書をご持参ください。
杏林大学医学部付属病院 (三鷹市新川6-20-2)	月曜 14:00~16:00	可	可	事前予約は必須です。主治医に依頼するか、ご自分で病院代表番号(0422-47-5511 平日9:00~16:30、土曜9:00~12:00)に電話し医療連携室経由で「産後外来」に予約を入れてください。予約時にHTLV-1についてのカウンセリングである旨をお伝えください。
国立成育医療研究センター (世田谷区大蔵1-10-2)	金曜 13:00~14:00	可	可	事前予約は必須です。主治医に以下の2点を依頼してください。 ① 診療情報提供書の作成 ② 医療連携室経由での予約(03-5494-5486 平日8:30~16:30) 主治医がない場合は03-3416-0181(代表)へお電話いただき(平日9:00~16:30)、「母子感染外来担当者」へ電話でご相談ください。
昭和大学病院 (品川区豊島6-1-5-8)	月曜 午後	可	※1	診療情報提供書があれば、主治医だけでなくご自分で事前予約を入れることも可能です。医療連携室に電話(03-3784-8419 平日8:30~17:00)もしくはメール(詳細は院内HPをご覧ください)で予約を入れてください。予約時にHTLV-1に関する受診である旨をお伝えください。事前予約のない場合は、初診外来(予約不要、受付時間8:00~11:00)を受診してください。その際に専門外来の予約を入れてさせていただきます。
帝京大学医学部附属病院 (板橋区加賀2-11-1)	診療時間で 適宜対応	可	不可	事前予約は必須です。主治医(紹介先医療機関)を通じて医療連携室にお電話ください。外帯予約も受け付けています。受診の際は診療情報提供書を持参してください。
東京慈恵会医科大学附属病院 (港区新橋3-19-18)	金曜 13:30~15:30	可	不可	事前予約のない場合は、初診外来(予約不要、受付時間8:30~11:00)を受診してください。その際に専門外来の予約を入れていただきます。原則、診療情報提供書を持参してください。
東京女子医科大学病院 (新宿区河田町8-1)		可	不可	事前予約のない場合は、初診外来(予約不要、受付時間7:30~11:00)を受診してください。原則、診療情報提供書を持参してください。
東京大学医学部付属病院 (文京区本郷7-3-1)		可	可	事前予約は必須です。主治医に依頼するか、ご自分で予約センター(03-5800-8930 平日10:00~17:00)に電話して予約を入れてください。原則、診療情報提供書を持参してください。
東京都立大塚病院 (豊島区南大塚2-8-1)	適宜調整	可	可	事前予約は必須です。病院代表電話(03-3941-3211 平日9:00~17:00、土曜9:00~12:00)に電話し、「地域連携支援グループ-HTLV-1」についての相談とお伝えください。診療情報提供書は原則必須です。ない場合は、まずは地域連携支援グループにご相談ください。
東京都立多摩総合医療センター (府中市武蔵台2-8-29)	木曜 14:00~16:00	可	可	事前予約は必須です。主治医に依頼するか、ご自分で病院予約センター(042-22-9200 平日・土曜9:00~17:00)に電話して、「HTLV-1外来予約の件で産婦人科本多医師とお話ししたい」とお伝え下さい。本多医師が不在の際は別の日にご連絡ください。原則、診療情報提供書を持参してください。
東京都立墨堤病院 (墨田区江東4-23-15)		可	※2	事前予約は必須です。主治医に依頼してください。墨田区・江東区・江戸川区の診療機関からの診療情報提供書がある場合に限り、ご自分で予約センター(03-3633-5511 平日・土曜8:30~17:00)に電話して予約を入れることも可能です。原則、診療情報提供書を持参してください。
東京大学医学部大森病院 (大田区大森西6-11-1)	金曜 9:00~11:00	可	不可	事前予約のない場合は、金曜9:00~11:00に来院してください。原則、診療情報提供書を持参してください。
日本医科大学多摩永山病院 (多摩市永山1-7-1)	月曜~金曜 9:00~16:00	可	可	事前予約は必須です。主治医に依頼するか、ご自分で平日15:00~16:30、土曜14:00~15:30に病院代表(042-371-2113)に電話してください。【女性診療科、産科外来(内線2207)】で対応致します。電話ご希望をお伺いし、予約日時を折り返しご連絡します。【予約センター】では予約できませんのでご注意ください。原則、診療情報提供書を持参してください。
日本赤十字社医療センター (渋谷区広尾4-1-22)	月曜 13:00~15:00	可	可	事前予約は必須です。産科外来に電話(代表03-3400-1311 ※「母乳サポート外来について」とお伝えください。受付時間 平日 8:30~16:30)して予約を入れてください。
日本大学医学部附属板橋病院 (板橋区大谷上町30-1)	月・火・木 午前中	可	可	事前予約は必須です。主治医に依頼するか、医療連携センター(03-3972-8111 平日8:30~19:00、土曜8:30~12:00)に電話して予約の方のみもしくは「産科外来(03-3972-8111【南病棟】)」に電話して予約を入れてください。原則、診療情報提供書を持参してください。

- ※1 診療情報提供書があれば可  
 ※2 墨田区・江東区・江戸川区の診療機関の診療情報提供書があれば可(それ以外は不可)

一般社団法人東京産婦人科医会

## 産婦人科基幹施設の受診方法

2

## HTLV-1に関連した相談先(内科/小児科)

一般の方へ

### ●HTLV-1に関する相談・HTLV-1キャリアの方の受診先

東京大学医学部附属病院 血液腫瘍内科(日本HTLV-1学会認定施設)  
 日本HTLV-1学会ではHTLV-1に関連した相談対応が可能な施設を認定しています。上記施設を含め、認定施設のリストは学会ホームページ上に公開されています。  
[http://htlv.umin.jp/info/hospital\\_ichiran.html](http://htlv.umin.jp/info/hospital_ichiran.html)

### ●HTLV-1キャリアの方のためのウェブサイト

キャリネット  
<https://htlv1carrier.org/>  
 HTLV-1キャリアのみなさんのニーズを政策に反映していくため、厚生労働省の研究班が中心となって運営し、みなさんの情報を集約するために作られたウェブサイトです。他のHTLV-1キャリアの方の様子を知ることができたり、HTLV-1の専門医師からの情報提供のニュースを受信することができます。

### ●HTLV-1キャリアのお母さんから出生したお子さんに関する相談対応が可能な小児科施設

以下は東京小児科医会により指定された施設です。出生後のお子さんの経過観察や母子感染の確認検査を受けることができます。受診の際はなるべく紹介状を持参してください。

足立区	ちばこどもクリニック⑧ 和和小児科医院⑨ 千葉小児科内科医院⑩ 環町クリニック⑪	渋谷区	かずえキッズクリニック⑫
大田区	大川こども&内科クリニック⑬ 神川小児科クリニック⑭	台東区	柴田小児科医院⑮
板橋区	萩原医院⑯ すがやこどもクリニック⑰	豊島区	アルバカ小児耳鼻科クリニック⑱
葛飾区	の場医院⑲	練馬区	沼口整形外科・小児科④ 内田こどもクリニック⑤ 牧田医院⑥
国分寺市	くろさわ子ども&内科クリニック①	文京区	細部小児科クリニック⑭
小平市	いとう小児科②	町田市	はやしクリニック⑳
		三鷹市	あきやま子どもクリニック③
		港区	クリニックばんびにい⑩



一般社団法人東京産婦人科医会

## 小児科・内科施設の受診方法

3

# HTLV-1東京プログラム

# 東京産婦人科医会のホームページ ●医療機関向けの情報

## HTLV-1東京プログラム

産科医療機関

HTLV-1に関する最新の情報を確認する場合は、以下をご覧ください。

### HTLV-1情報ポータルサイト

↳ <https://htlv1.jp>

### 厚生労働科学研究班による HTLV-1 母子感染予防対策マニュアル（第2版）

↳ 厚労省HP | <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken16/>  
↳ マニュアルのPDF | <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken16/dl/06.pdf>

## ●HTLV-1東京プログラム

HTLV-1キャリアと診断された妊婦さんとその主治医をサポートする目的で設置されたプログラムです。

このプログラムは、東京産婦人科医会、東京小児科医会と厚生労働科学研究費助成事業や次世代育成総合研究事業（研究代表者 内丸薫）によって企画され、運用されています。

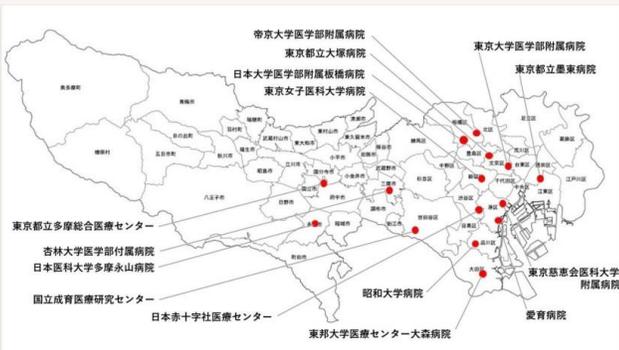
HTLV-1キャリアの妊婦さんの理解をサポートする目的で、妊婦さんへ配布する資料\*を作成しました。ダウンロードしてご利用ください。

\*本資料は、最新情報を取得次第、修正する予定です。ダウンロードしてご自由に使用いただいても構いませんが、使用する毎にダウンロードしていただきますようお願いいたします。

### ダウンロード

キャリアと診断された妊婦さん/褥婦さんへの説明や対応に苦慮する場合は、下記のHTLV-1東京プログラム基幹施設にご紹介ください。

※ご紹介される際は事前予約（次ページ参照）および診療情報提供書の作成をお願いします。



## HTLV-1東京プログラム基幹施設

産科医療機関

### ●HTLV-1東京プログラム基幹施設の予約方法

紹介される際は、事前予約および診療情報提供書の作成をお願いします。

施設名	住所	対応可能日	医療機関からの予約方法（診療情報提供書の作成は必須です）
総合母子保健センター 愛育病院	港区芝浦1-16-10	金曜 9:00~12:00	地域医療連携室に電話(03-6453-7300 平日 8:30~16:50)して予約を入れてください。予約時にHTLV-1についてのカウンセリングがある旨をお伝えください。
杏林大学医学部 付属病院	三鷹市新川6-20-2	月曜 14:00~16:00	病院代表番号(0422-47-5511)に電話し医療連携室経由で、もしくは医療連携室にFAX(0422-44-6897)を送信し、超音波外来に予約を入れてください(平日9:00~16:30、土曜9:00~12:00)。予約時にHTLV-1についてのカウンセリングがある旨をお伝えください。
国立成育医療 研究センター	世田谷区大蔵1-10-2	金曜 13:00~14:00	医療連携室に電話(03-5494-5486 平日8:30~16:30)して予約調整をしてください。
昭和大学病院	品川区旗の台1-5-8	月曜 午後	医療連携室に電話(03-3784-8400 平日8:30~18:00、土曜8:30~17:00)もしくはFAX(03-3784-8922、24時間受付可)を送信し、予約を入れてください。予約時にHTLV-1に関する受診である旨をお伝えください。
帝京大学医学部 付属病院	板橋区加賀2-11-1	診療時間で 適宜対応	医療連携室に電話(03-3964-1498 平日8:30~17:00、土曜8:30~12:30)して予約を入れてください。 <a href="https://www.teikyo-hospital.jp/hospital/section/support/support01/support02.html">https://www.teikyo-hospital.jp/hospital/section/support/support01/support02.html</a>
東京慈恵会医科大学 付属病院	港区西新橋3-19-18	金曜 13:30~15:30	医療連携室にFAX(03-5401-1879 平日9:00~18:30、土曜9:00~17:00)を送信し、金曜13:30~15:30のプレコンセプション外来に予約を入れてください(患部医大附属病院のHPを参照)。
東京女子医科大学病院	新宿区河田町8-1		地域連携室に電話(03-5269-7538 平日9:00~16:30、土曜9:00~12:30(第3除く))もしくはFAX(03-5269-7387 平日9:00~17:00、土曜9:00~12:00(第3を除く))を送信して予約を入れてください。
東京大学医学部 付属病院	文京区本郷7-3-1		予約センター(03-5800-8630 平日10:00~17:00)に電話して予約を入れてください。
東京都立大塚病院	豊島区南大塚2-8-1	適宜調整	地域連携担当に電話(03-3941-7468 平日9:00~17:00、土曜9:00~12:00)、連携外来科に予約を入れてください。
東京都立 多摩総合医療センター	府中市武蔵台2-8-29	水曜 14:00~16:00	医療連携室にFAX(042-323-9205「地域連携支援グループ」 平日・土曜9:00~17:00)を送信して予約を入れてください。備考欄に「産婦人科 本多医師 HTLV-1外来希望」とご記載ください。
東京都立墨東病院	墨田区江東橋4-23-15		病院代表番号(03-3633-6151)もしくは予約センター(03-3633-5511 平日・土曜8:30~17:00)に電話し「産科の予約を取りたい。HTLV-1東京プログラムの患者です。」と伝えてください。予約調整担当者に転送されます。
東邦大学 医療センター大森病院	大田区大森西6-11-1	金曜 9:00~11:00	地域医療連携室「パートナー」経由で予約を入れてください(電話:03-3762-6616 平日8:30~17:00、土曜8:30~14:00、FAX:03-5763-6573 平日8:30~16:30、土曜8:30~13:30)。
日本医科大学 多摩永山病院	多摩市永山1-7-1	月~金曜 9:00~16:00	平日15:00~16:30、土曜14:00~15:30に病院代表(042-371-2111)に電話してください。【女性診療科・産科外来(内線2207)】で対応致します。電話でご希望をお伺いし、予約日時を折り返しご連絡します。【予約センター】では予約できませんのでご注意ください。
日本赤十字社医療センター	渋谷区広尾4-1-22	月曜 13:00~15:00	医療連携室にFAX(03-3400-0193 24時間受付可、17:00以降の到着分は翌営業日に返函)を送信して予約を入れてください。
日本大学医学部 付属板橋病院	板橋区大谷口上町30-1	月・火・木 午前中	医療連携センターに電話(03-3972-8197 平日8:30~19:00、土曜8:30~12:00)して予約を入れてください。

## HTLV-1に関する相談先（小児科）

産科医療機関

### ●HTLV-1キャリアのお母さんから出生したお子さんのフォローについて

キャリアのお母さんから出生したお子さんは、選択した栄養方法に関わらず、母子感染が起こる可能性があります。母子感染の有無を評価する場合は3歳以降に検査することが推奨されています。

一般的に、分娩施設とは異なる施設で乳幼児健診を受けるケースが多いので、お子さんを担当する小児科医への正確かつ確実な情報共有に努めてください。

小児科医へ伝達する情報の内容については「厚生労働科学研究班によるHTLV-1 母子感染予防対策マニュアル(第2版)」に掲載されている、「小児科児で診療情報提供書のモデル(マニュアル p.63)」(次ページ参照)を参考にしてください。

### ●HTLV-1キャリアのお母さんから出生したお子さんのフォローが可能な小児科施設

以下は、東京小児科医会により指定された施設で、出生後のお子さんの経過観察や母子感染の確認検査ができます。紹介の際は診療情報提供書(次ページ参照)を作成してください。

足立区	ちばこどもクリニック⑤ 和田小児科医院⑨ 千葉小児科内科医院⑩ 曙町クリニック⑪	渋谷区	かずえキッズクリニック⑫
大田区	大川こどもと内科クリニック⑬ 神川小児科クリニック⑭	台東区	柴田小児科医院⑬
板橋区	萩原医院⑤ すがやこどもクリニック⑦	豊島区	アルバカ小児科耳鼻科クリニック⑯
葛飾区	の場医院⑫	鎌倉区	沼口整形外科・小児科④ 内田こどもクリニック⑤ 牧田医院⑥
国分寺市	くろさわ子どもと内科クリニック①	文京区	細部小児科クリニック⑭
小平市	いとう小児科②	町田市	はやしクリニック⑮
		三鷹市	あきやま子どもクリニック③
		港区	クリニックばんびにい⑰



# HTLV-1

## HTLV-1 母子感染を防ぐために

# 東京産婦人科医会のホームページ 産科医療機関向けの情報

### HTLV-1東京プログラム

HTLV-1に関する最新の情報を確認する場合は、以下をご覧ください。

#### HTLV-1情報ポータルサイト

<https://htlv1.jp>

#### 厚生労働科学研究班による HTLV-1 母子感染予防対策マニ

厚労省HP | <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken/>

マニュアルのPDF | <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi->

### ● HTLV-1東京プログラム

HTLV-1キャリアと診断された妊婦さんとその主治医をサポートするプログラムです。

このプログラムは、東京産婦人科医会・東京小児科医会と厚生労働科学研究班(研究代表者 内丸薫)によって企画され、運用されています。

HTLV-1キャリアの妊婦さんの理解をサポートする目的で、妊娠が完了しました。ダウンロードしてご利用ください。

※本資料は、最新情報を取得次第、修正する予定です。ダウンロードしてご使用される毎にダウンロードしていただけますようお願いいたします。

ダウンロード

キャリアと診断された妊婦さん/褥婦さんへの説明や対応に苦慮する東京プログラム基幹施設にご紹介ください。

※紹介される際は事前予約(次ページ参照)および診療情報提供書の作成をお願いします。



### HTLV-1 ウイルスについて

HTLV-1 ウイルスは日本語ではヒトT細胞白血病ウイルス-1型と呼ばれ、成人T細胞白血病・リンパ腫などの病気の原因であることが分かっています。日本は先進国の中でHTLV-1感染者数が最も多く、100万人近くいると考えられています。以前は西日本に多くみられていましたが、人口の移動とともに大都市圏を中心に全国でみられる傾向にあります。

### HTLV-1 ウイルスの感染経路

生きた感染細胞が大量に体内に移入された場合に感染する可能性があります。おもな感染経路は、①母乳を介する母子感染、②性行為による感染、③輸血や臓器移植を介した感染、④出生前の感染です。授乳、性交渉を除いた日常生活における感染の機会はありません。

### HTLV-1 ウイルスによっておこる病気

HTLV-1に感染しただけでは無症状で、ほとんどの人はそのまま無症状で一生涯を過ごします(無症候性キャリアと言います)。感染が原因の疾患(HTLV-1関連疾患)を発症する人はHTLV-1に感染した人の約5%で、残りの約95%の人は特にHTLV-1関連疾患を発症することなく一生を過ごします。

#### 成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)

白血球のうち的一种であるリンパ球の中のT細胞にHTLV-1ウイルスが感染してがん化することで発症する血液のがんです。リンパ節が腫れたり、皮膚の発疹などの症状の他、強い免疫不全となり、ATLを発症すると白血病の中でも予後が不良といわれています。無症候性キャリアでの生涯発症率は約5%であり、40歳以前に発症することは稀で、60歳後半での発症が多いです。

#### HTLV-1関連脊髄症(HAM)

30~50歳代の発症(平均40歳)が多く、無症候性キャリアでの生涯発症率は0.3%と推定されていて発症はきわめてまれです。下肢のつっぱり感や歩行時の足のもつれなどが最初の症状で、進行性に両下肢の痙性不全麻痺を起し、日常生活が著しく制限される難病です。

#### HTLV-1関連ぶどう膜炎(HU)

50~60歳代の発症が多く、眼のぶどう膜に炎症が起こる病気です。霧視(かすんで見える)、飛蚊症(眼の前に虫やゴミが飛んでいるように見える)、視力の低下、眼の充血、眼痛、羞明感といった症状が両眼あるいは片眼に急に発生します。

## HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)に関する情報

### 専門家が運営する情報提供サイト

#### HTLV-1 情報ポータルサイト

<https://htlv1.jp>



### 厚生労働省

#### HTLV-1 についての基本情報

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou29/>



### キャリアねっと

<https://htlv1carrier.org/>



#### HTLV-1の母子感染予防に関する情報

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken16/index.html>



## HTLV-1に関する専門的な相談窓口

### 日本 HTLV-1 学会登録医療機関

ご自身の将来のことなどで不安や心配なことがある場合は、かかりつけの産婦人科や地域の保健センター(保健所)、地域の拠点病院の相談窓口などに相談して下さい。地域の保健センターでは専門医療機関を紹介しているところもあります。日本 HTLV-1 学会登録医療機関では、専門医が相談に対応する HTLV-1 キャリア外来を設置しています。HTLV-1 キャリアで ATL などの発症を防ぐ有効な方法はまだありませんが、ご希望があれば定期的に医師と相談しながら正しい知識を得て、経過をみていくなどにより不安の解消に役立つこともあります。

### 日本 HTLV-1 学会

<http://htlv.umin.jp/info/hospital.html>



### 東京都内での母子感染についての相談窓口

妊娠中に HTLV-1 キャリアと診断されて、心配されている方が専門的な相談を希望される場合に対応可能な医療機関を整備しています。自身の健康、出産後の授乳方法など心配なことがありましたら、お近くの相談可能な医療機関を予約して受診して下さい。また、出生後の赤ちゃんの経過観察、母子感染の確認検査について相談可能な医療機関があります。お近くの相談可能な医療機関を予約して受診して下さい。

### 東京産婦人科医会

<https://www.taog.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2023/06/ippan.pdf>



### 機関

お問い合わせ

30分以内

15分以内

10分以内

5分以内

10分以内

15分以内

20分以内

30分以内

45分以内

1時間以内

1時間以上

2時間以上

3時間以上

4時間以上

5時間以上

6時間以上

### HTLV-1に関する相談先(小児科)

### 産科医療機関

#### ● HTLV-1キャリアのお母さんから出生したお子さんのフォローについて

キャリアのお母さんから出生したお子さんは、選択した栄養方法に関わらず、母子感染が起こる可能性があります。母子感染の有無を評価する場合は3歳以降に検査することが推奨されています。

一般的に、分娩施設とは異なる施設で乳幼児健診をうけるケースが多いので、お子さんを担当する小児科医への正確かつ確実な情報共有に努めてください。

小児科医へ伝達する情報の内容については「厚生労働科学研究班による HTLV-1 母子感染予防対策マニュアル(第2版)」に掲載されている、「小児科宛て診療情報提供書のモデル(マニュアル p.63)」(次ページ参照)を参考にしてください。

#### ● HTLV-1キャリアのお母さんから出生したお子さんのフォローが可能な小児科施設

以下は、東京小児科医会により指定された施設で、出生後のお子さんの経過観察や母子感染の確認検査ができます。紹介の際は診療情報提供書(次ページ参照)を作成してください。

足立区	ちばこどもクリニック⑧ 和田小児科医院⑨ 千葉小児科内科医院⑩ 曙町クリニック⑪	渋谷区	かずえキッズクリニック⑫
大田区	大川こどもと内科クリニック⑬ 神川小児科クリニック⑭	台東区	柴田小児科医院⑮
板橋区	萩原医院⑯ すがやこどもクリニック⑰	豊島区	アルバカ小児科耳鼻科クリニック⑱
葛飾区	的場医院⑲	鎌倉区	沼口整形外科・小児科⑳ 内田こどもクリニック㉑ 秋田医院㉒
国分寺市	くろさわ子どもと内科クリニック①	文京区	細部小児科クリニック㉓
小平市	いとう小児科②	町田市	はやしクリニック㉔
		三鷹市	あきやま子どもクリニック③
		港区	クリニックばんびにい④⑤



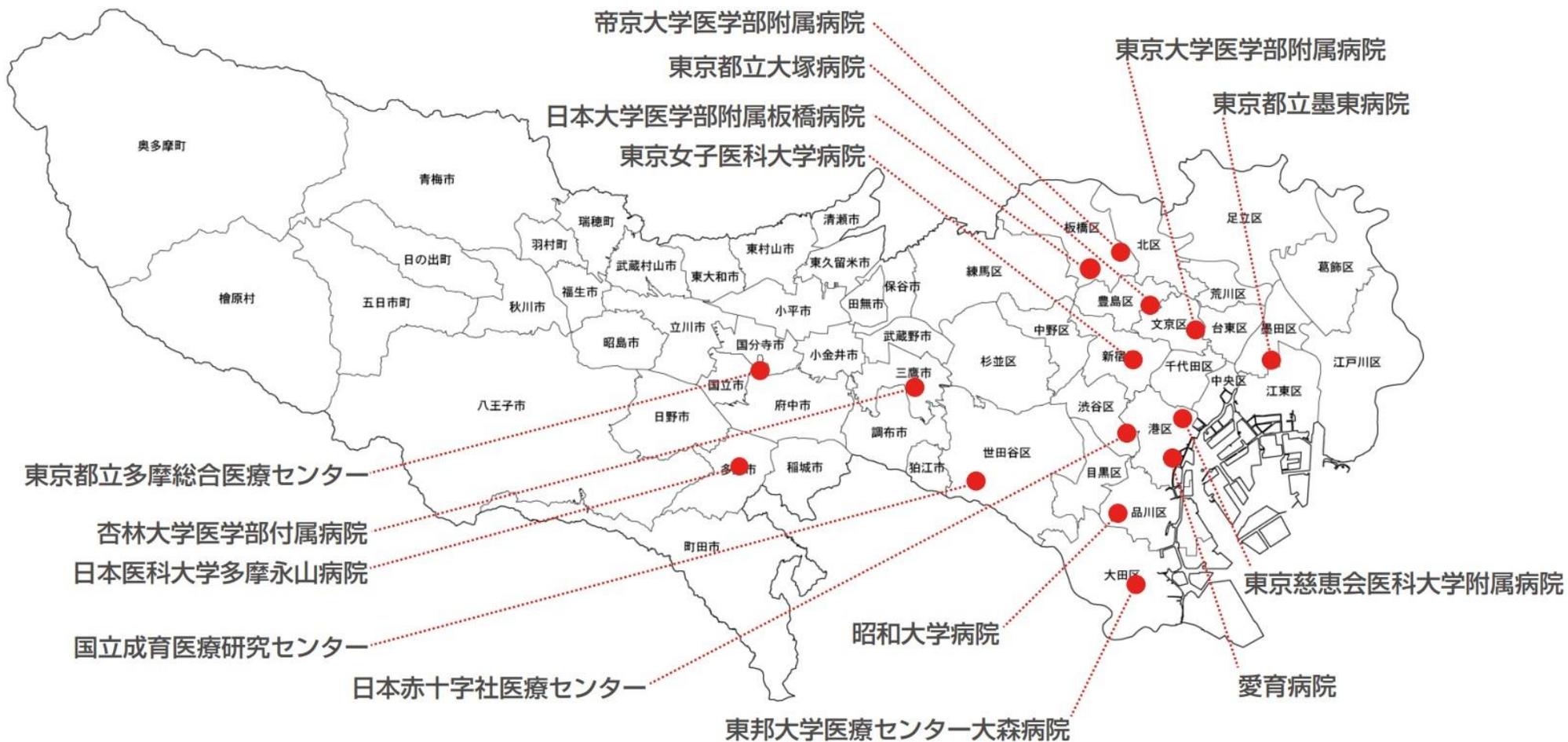
東京大学医学研究所附属病院  
血液腫瘍内科

# HTLV-1東京プログラム

## 産科基幹施設

# HTLV-1

- 栄養方法の選択・産後の乳房ケアに関する相談・受診先(産婦人科)



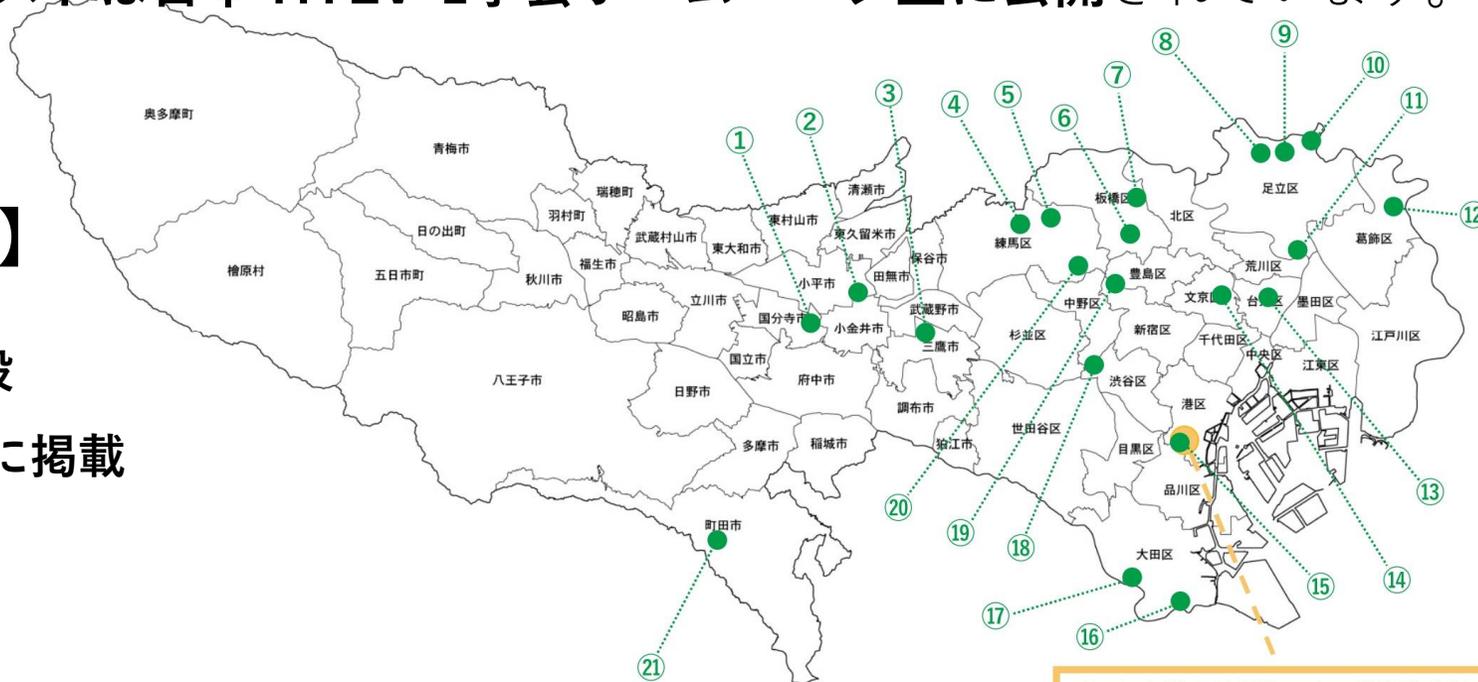
# HTLV-1専門外来：小児科・内科

## ●ご自身に関する相談・受診先【内科】

- 東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科（日本 HTLV-1 学会認定施設）  
内丸薫教授が対応
- 日本 HTLV-1 学会では HTLV-1 に関連した相談対応が可能な施設を認定しています。
- 上記施設を含め、認定施設のリストは日本 HTLV-1学会ホームページ上に公開されています。

## ●お子さんのフォローアップに関する相談・受診先【小児科】

- ・ 東京小児科医会の協力施設：21施設
- ・ 詳細情報は東京産婦人科医会のHPに掲載



東京大学医科学研究所附属病院  
血液腫瘍内科

- 公費スクリーニング検査で診断されたHTLV-1キャリア妊産婦をサポートする体制のモデルとして東京プログラムを作成しました。
- 東京プログラムを有効に活用してHTLV-1キャリアと診断された妊産婦が困ることのないようにサポートしてまいります。
  - ◆ キャリア妊産婦へのサポートが十分にできない場合には、最寄りの産科基幹施設へ紹介頂ければサポートします。
    - ✓ 基幹施設：総合周産期母子医療センター＋日本医大多摩永山病院
  - ◆ 東京小児科医会の協力施設で見もフォローします。
  - ◆ 妊産婦自身の健康への心配については内科医が責任をもって対応します。  
東大医科研病院：内丸教授に紹介ください。

# 謝辞

# HTLV-1

以下の先生方に深謝申し上げます。

- こども家庭科学研究費補助金「HTLV-1キャリア妊産婦の支援体制の構築に関する研究」研究班

**代表研究者 内丸薫先生 他研究班の先生方**

- 妊産婦のHTLV-1キャリアの支援のため、東京プログラムの設置にご協力いただいた

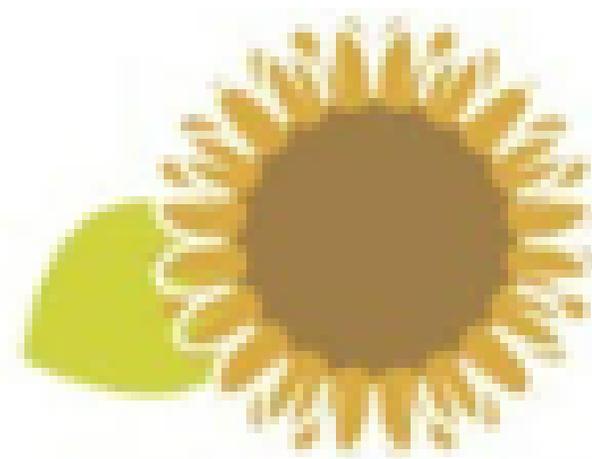
**東京プログラムの基幹施設の先生方**

- 東京プログラムの設置にご協力いただいた

**東京産婦人科医会（松本和紀会長）**

**東京小児科医会（時田章史理事）の先生方**

**ご清聴いただきありがとうございました**



**HTLV-1東京**